

大分大学 「ホームカミングデー2017」を開催

大分大学は、11月5日（日）に「ホームカミングデー2017」を開催し、県内外から集まった同窓生58名が懐かしい旧友と交流を深めました。

「ホームカミングデー2017」は、今年も学生交流会館 *B-Foret*（ビ・フォーレ）で行われ、第一部「交流会」では、北野正剛学長より大学を取り巻く状況説明や、同窓会・同窓生の皆様に、本学との交流と親睦が一層促進されること、また、本学の今後の更なる発展のためにご支援・ご協力をお願いしたいとの挨拶がありました。

続いて、大分大学同窓会連合会の秦会長より挨拶があり、同窓生を代表して、理工学部（工学部）同窓会の翔工会会員である佐賀大学芸術地域デザイン学部教授の有馬隆文氏より「風景から『学び』を考える-世界の街並みめぐり-」と題した講演がありました。

最後に、各学部長等から各学部・研究科等の現況説明が行われました。

第二部「懇親会」では、豊友会の秦会長から開会挨拶が行われ、元経済学部長の大谷眞忠名誉教授による挨拶があった後、玉樹会の高倉会長の音頭で乾杯が行われ立食形式で自由に歓談いただき、途中、豊友会・四極会・玉樹会の各同窓生からスピーチがあり各同窓生の現況等が紹介され、旧友、恩師、教員らと昔話に花を咲かせ、会場は大いに盛り上がりました。

最後は、桜樹会の古田会長による挨拶で爽やかに宴が締めくくられました。

同窓生からは「大学学部の動きがわかり、又今後の問題点もうかがえるのが嬉しい。」「すばらしい講演で興味があった。」といった感想が寄せられました。



（左から）交流会で挨拶する秦同窓会連合会会長、北野学長



(左から) 交流会で同窓生を代表して講演する 有馬様
 懇親会で乾杯の挨拶をする玉樹会 高倉会長
 懇親会で最後の挨拶をする桜樹会 古田会長



懇親会で開会の挨拶をする豊友会の秦会長



代表挨拶をする大谷眞忠名誉教授（右）と安岡正義名誉教授（左）



懇親会会場風景



スピーチ中の四極会女子部会員



交流会で講演中の有馬様